

---

# 不幸な兵士の幸福な物語

ミッシ・ゴッシュ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

不幸な兵士の幸福な物語

### 【Nコード】

N5284F

### 【作者名】

ミッシ・ゴッシュ

### 【あらすじ】

どろじよつも無く臆病な兵士の物語。

ある所に、臆病で仕方の無い兵士が居ました。

彼の名はセラシエ。彼は蟻も殺せぬ程に気が弱く、槍を握る事さえ満足に出来ませんでした。

彼は敵に殺される事が怖くて怖くて仕方ありませんでした。人々は彼を嘲りこう呼びます。人知を超越せし腰抜け、と。

そんなセラシエは、戦がある度にその臆病さ故に病気やら何やらを言い訳にして、それを逃れて来ました。

しかしある日、どう言い訳しても逃れられずに、とうとう戦に狩り出されました。

戦場に漂う濃厚な血の香り。紅に染められた大地は、セラシエの思考を奪い去りました。

戦場に響く重く鋭い砲弾の叫び。そして仲間達の断末魔はセラシエの脳髓を激しく揺さ振りました。

セラシエは、恐怖のあまり錯乱し、あろう事か味方に刃を向けました。

「俺は味方だぞ!？」

発狂した彼にはその言葉も届かず一人、また一人と仲間を斬り付けました。

そしてセラシエが三人目に斬り掛ろうとしたその時、彼は味方の

槍に貫かれました。

「俺は味方だ、ぞ……」

彼はそう遣すと、微笑みながら静かに息絶えました。

彼は蟻も殺せぬ程の臆病者でしたが、人を殺める事に掛けては天才的でした。

彼は槍を握る事すら出来ぬ不器用者でしたが、剣を奮う事は得意でした。

セラシエは、臆病で仕方のない腰抜けでした。敵に殺される事を避けたい彼は、味方に殺される事を選びました。

2008/02/25

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5284f/>

---

不幸な兵士の幸福な物語

2010年11月16日01時27分発行